

熊本地震の支援物資運搬について

- 目的：① 日本カトリック老人施設協会会員施設への物資支援
② 会長（平田常務理事）による現地視察
- 期 日：平成 28 年 4 月 20 日（水）
- 時 間：4：00～13：00
- 運搬ルート：福岡都市高速⇄九州道（太宰府⇄植木）⇄国道 3 号線
- 訪問場所：
 - ① 社会福祉法人聖母会 聖母の丘（滞在時間 9：15～9：30）
住所 熊本市西区島崎 6-1-27 電話 096-355-3017
 - ② カトリック手取教会（滞在時間 9：50～10：30）
住所 熊本市中央区上通町 3-34 電話 096-352-3030
- 物資運搬先：社会福祉法人聖母会 聖母の丘（別紙のとおり）
- タイムスケジュール及び内容
4：00 糸島出発

【支援物資運搬中の表示】



5：20 玉名 SA で休憩

5：43 植木インター

- ・ 植木インターまではスムーズに運行できたが、出口で 2 キロの渋滞、3 号線に到達するまで 1 時間程度要す
- ・ 3 号線も熊本市に向け大渋滞
- ・ 3 号線に簡易トイレを設置している個所があった。
- ・ 信号は全国から来た県警が操作

9：15 聖母の丘到着

- ・ 場所は熊本城の西方に位置、敷地内に、高齢者施設の他修道会、慈恵病院あり。
- ・ 建物の被害はないが水道は出ない。井水があるためライフラインは確保できている。
- ・ 井水を地域に開放し、地域の方が水汲みに来ていた。
- ・ 近隣の高齢者や子供たちに施設を開放し、食事を提供

平成 28 年 4 月 21 日
文責 篠原の里田中

- ・ 夜は地震が不安なため、住民の受け入れを継続し、食事も提供
- ・ 昼間は、学校等が休みのため子どもたちの受け入れ継続
- ・ 水道が井戸であるため、近隣への水の提供
- ・ 施設の被害はないが、職員の自宅の被害が甚大
- ・ その他、長崎からも支援物資が届いていた
- ・ 到着時間が朝礼後だったため、事務所に職員が集まっており、支援物資の運び入れが滞りなく終了した。

【聖母の丘玄関】



【笠原施設長と平田常務理事】



【近隣の子供たちに開放している建物】



【瓦が落ちた熊本城を遠くに眺める】



9 : 5 0 カトリック手取教会到着

- ・ 教会ではガスが使用できず、お湯が沸かせない
- ・ (神父様は福岡西方沖地震も体験しているが) 本震は福岡西方沖地震よりも激しい揺れだった。
- ・ 被害は、写真の通り、聖堂の屋根、内装、御像の倒壊等がみられている。
- ・ 神父様の話によると、益城町については、地域には自宅所有者しか入れないとのこと。

【剥がれ落ちた屋根】



【倒壊した御像】



1 0 : 3 0 出発

- ・ 熊本市内から植木インターまで渋滞がみられ、1 時間程度要した。
- ・ 植木市内も飲食店は営業しているところが少なかった。

1 1 : 2 0 植木インター

1 2 : 0 0 基山 SA で休憩

1 3 : 0 0 糸島着

(所感)

- ・ 車両で通行したところは、建物の倒壊はみられなかったが、建物や道路アスファルトのひび割れ、屋根瓦の欠落がみられている。今後余震や激しい雨が続くことで益々被害が増えてくるものと思われる。
- ・ 施設などは職員の疲労や、自宅の心配もあるので、人的支援が早急に必要であると推察する。
- ・ 糸島出発から熊本市内まで、植木インター、3 号線を使用し 5 時間程かかった。今後ボランティアの熊本入りも増え、う回路も紹介が進んでいるので、道路状況の情報把握が常に必要である。
- ・ 熊本市内では、ごみが道路に出されている光景が見られた。衛生上の課題を感じた。